

横浜市インフルエンザ流行情報 2号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

横浜市内はインフルエンザ流行しています

【第44週(10月28日~11月3日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **1.12** となり、流行開始の目安となる 1.00 を上回りました。
- ✓ 年齢別では、15歳未満の報告が全体の48.7%を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は8校(小学校8)で、患者数は80人です。

なお、第44週までの累積は、

- ✓ 市内迅速診断キットの結果は、A型97.6%、B型2.2%、A型・B型共に陽性0.2%で、**A型が多く検出されています。**
- ✓ 病原体分離・検出状況ではA型の分離数が多くなっています。

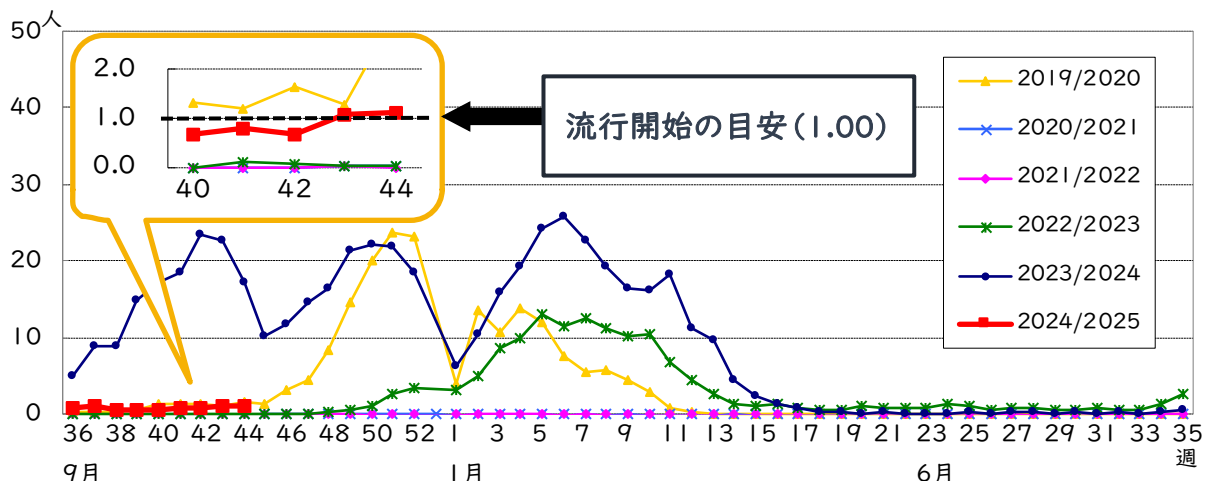
☑ ワクチン接種・咳エチケット・正しい手洗い^{※2}等、早めの準備が重要です。

※1 定点あたりの患者報告数とは、1週間に1回、定期的にインフルエンザ患者発生状況をご報告いただく医療機関(市内153か所)からの患者報告数の平均値です。

※2 令和5年度インフルエンザQ&A(厚生労働省)に、インフルエンザの予防方法等について掲載されています。

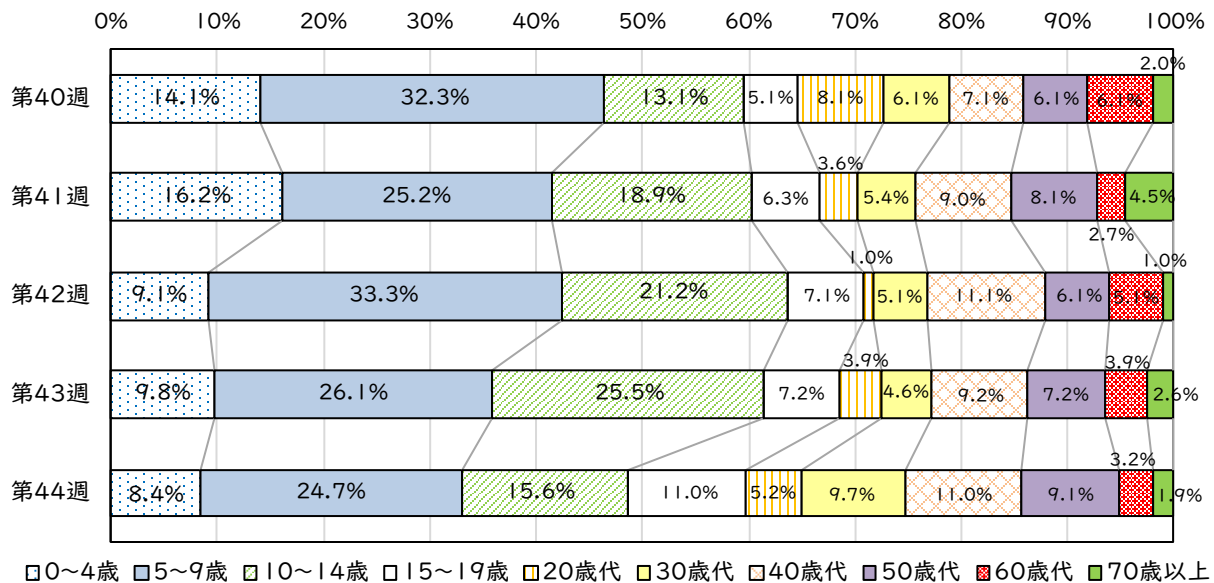
【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2024年8月下旬(第34週0.19)以降、緩やかな増加傾向が続き、第43週(10月21日~10月27日)に1.07となり、流行開始の目安となる1.00を上回りました。第44週は**1.12**です。



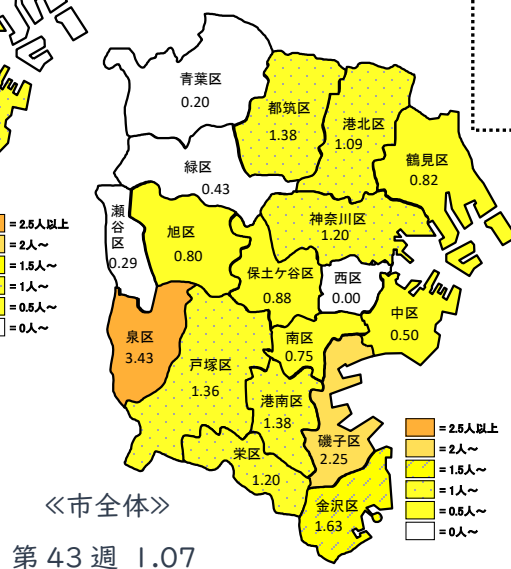
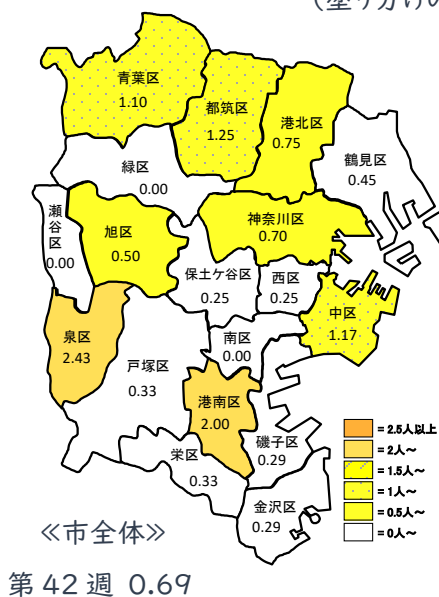
【年齢層別集計】

第44週の患者年齢構成は、10歳未満が33.1%、10歳から15歳未満が15.6%となっており、15歳未満が全体の48.7%を占めています。



【地図で表した直近3週間の区別流行状況】

(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



【参考】

直近流行(2023/24シーズン)の流行推移

流行の開始【定点あたり1.00以上】

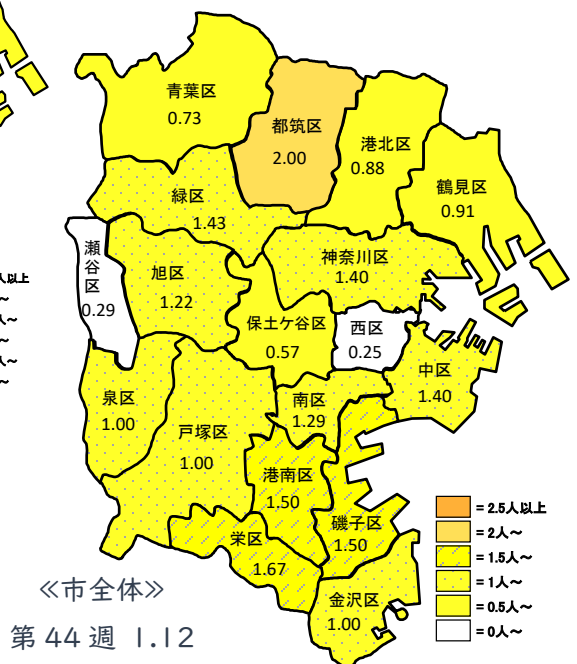
第34週(2023年8月21日~8月27日)

流行注意報発令【定点あたり10.00以上】

第39週(2023年9月25日~10月1日)

流行注意報解除【定点あたり10.00未満】

第13週(2024年3月25日~3月31日)



* 参考リンク

近隣自治体の流行状況

○ [神奈川県](#) ○ [川崎市](#) ○ [東京都](#)

全国の流行状況

○ [国立感染症研究所](#)

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
横浜市医療局健康安全課

TEL 045(370)9237
TEL 045(671)2463